

2025年度 発達支援つむぎ 東大和(児童発達支援) スタッフアンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。スタッフアンケートの結果および改善策の報告をいたします。
今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

		質問内容	平均スコア (最大四点)	改善策・ご意見への対応について
業務改善について	Q2	入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するにあたり安全な環境であるか。	4.1	
	Q3	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	3.3	併設園である利点を活かしながら、全員が休憩を適切に取ることができ、安心して働くことができる環境設定に努めています。
	Q4	保護者様にアンケート調査等を行い、保護者様の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.0	
	Q5	スタッフの資質、支援スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	3.4	ケース検討以外にも、終礼での子どもの共有、支援方針や関わり方についても共有することで機会の確保に努めています。
	Q6	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		働きやすいと感じられる環境設定について業務の効率化を図ってまいります。
適切な支援の提供について	Q7	アセスメントを適切に行い、子どもや保護者、訪問先施設のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	3.9	なかなか母体園の訪問機会がない現状ではありますが、まずアセスメントに関して共有する時間を設定し分析した上で支援計画に落とし込むように策定会議の時間を大切にすることに努めています。
	Q8	支援の内容は、支援目標に沿ったものになっているか。	3.8	支援計画書の目標自体が先を見据えて立案されているため、どのように日々の支援に落とし込むか、どの段階で目標に沿ったものになっているか振り返りを実施するかなど明確にするように努めています。
	Q9	支援の開始前にはスタッフ間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	3.9	マンスリー支援とビジター支援の入れ違いの時間や、支援準備時間の設定などいつの段階でどこまで共有しておくことで当日の支援がスムーズに行えるか検討してまいります。
	Q10	支援終了後には、スタッフ間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	3.9	振り返りの時間が足りないとの声をいただいております。ビジター支援後に振り返りまで難しい場合は、いつ振り返りができるかあらかじめ時間を設定して、次の支援に活かせる工夫をしてまいります。
	Q11	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができるか。	4.4	
	Q12	各事業のガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)あるいは保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」を踏まながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3.9	どのような支援が自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流や余暇の提供にあたるのかをスタッフ間で共有しています。また保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容についても、どのように落とし込んでいくか母体園、小学校等と連携を図った上で共通認識を持って支援にあたれるよう努めています。
	Q13	適切な支援の提供について、ご提案をお聞かせください。		子ども主体の支援になっていいか、子どもたちにとつてセンターがどのような場所であるべきかを考えて日々の支援にあたっています。
関係機関や保護者様との連携について	Q14	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持つているか。	4.3	
	Q15	所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に務めているか。	3.6	訪問支援以外にも連携を図る手段として電話でのやり取り、保護者様を通しての聞き取り等様々な手段があることをスタッフ間で共有した上で、支援にも活かせるように共有しています。
	Q16	児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、あるいは就園・就学時の移行などの際には、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	3.9	現在は、就学支援シートという形、もしくは特別支援学校とは電話での共有などに努めています。引き続き、安心して就学できる環境を整えてまいります。
	Q17	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3.4	他事業所を利用してお子さまに関しては、モニタリングやサービス等利用計画・障害児支援利用計画を通して情報共有しております。また相談支援事業所を通して助言を受けております。引き続き、連携を図るよう努めています。
	Q18	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	3.6	地域の自立支援協議会に関しては、相談支援部会に設置されており参加しております。引き続き、地域連携を図ってまいります。
	Q19	障害の有無にかかわらず、子ども同士が関わる機会を設けているか。	4.6	
	Q20	保護者様の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者様の状況に合わせた適切な支援を行っているか。	4.1	
保護者様などに子つさないままへ	Q21	関係機関や保護者様との連携について、ご提案をお聞かせください。		面談や懇談会を通して保護者様の意見や質問を受ける機会を設けます。また、地域の中核を担う児童発達支援センターとして、関係機関や他事業所との連携を充実させ、保護者様のサポートを速やかに行える体制づくりに努めています。
	Q22	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.2	
	Q23	保護者や訪問先施設からの相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4.2	
	Q24	子どもや保護者様からご意見・ご提案があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.1	
満足度について	Q25	保護者様や子どもへの対応などについて、ご提案をお聞かせください。		常に情報共有を行い、どのスタッフが対応しても安心して保護者も子どもも任せられる環境を整え、支援にあたっています。
	Q26	つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感があるか。	4.3	
	Q27	設問事項に関わらず、ご提案などお聞かせください。		引き続き、地域に根付いた中核的役割を持ったセンターとしての役割を果たせるよう、日々努めています。

アンケート実施期間:2025年8月20日～9月5日

回答数 : 16

発達支援つむぎ 東大和(児童発達支援)

施設長 下町 紗世